

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が3例(10歳未満男性1例及び女性1例, 50歳代女性)あります。本年の累積報告数は12例となっています。
詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市感染症情報センター「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(60歳代男性)があります。本年の累積報告数は17例となっています。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(80歳代女性)あり、症状は肺炎です。本年の累積報告数は7例で、昨年報告数6例を越えました。本疾患はインフルエンザ菌(H.influenzae)によって引き起こされる感染症で、a～fの6つの型に分類されます。このうちb型(Hib(ヒブ))に対してはワクチンがあり、平成25年4月から5歳未満の小児を対象に定期接種化されました。Hib(ヒブ)ワクチンの接種スケジュール等の詳細については、以下のホームページを御覧ください。
○京都市情報館「京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種/協力医療機関検索はこちら)」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(10歳未満男性)あり、本年の累積報告数は54例となっています。

◆ 今週のトピックス:<腸管出血性大腸菌感染症>

- 京都市の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は前週の5例に続き、30週も3例の報告があり、年間累積報告数が12例となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 9例(肺結核 4例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 201例(肺結核 109例, その他結核 42例, 潜在性結核感染者 50例)うち喀痰塗抹陽性 49例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 3例【1月以降の累積報告数 12例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 17例】
- 五類:侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 54例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.50	231
	② 手足口病	1.81	76
	③ ヘルパンギーナ	1.43	60
	④ 流行性耳下腺炎	1.14	48
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.95	40
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

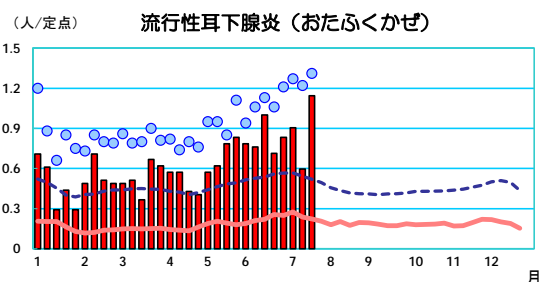
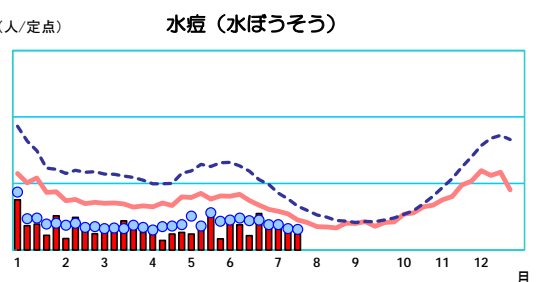
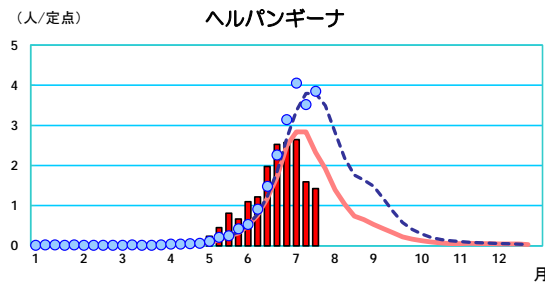
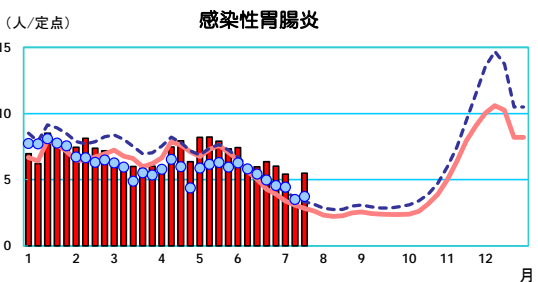
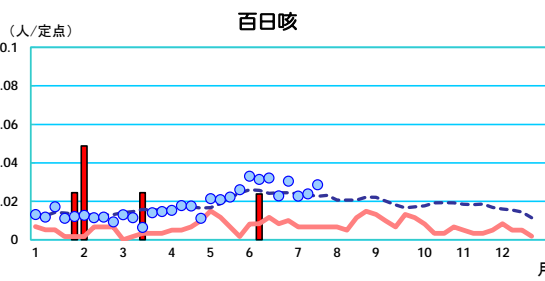
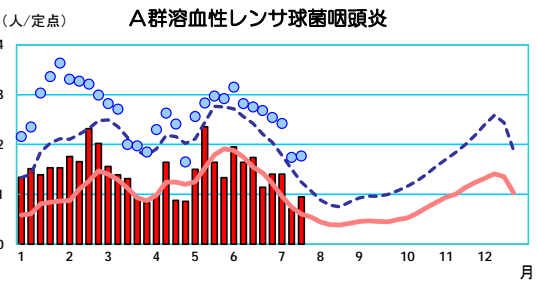
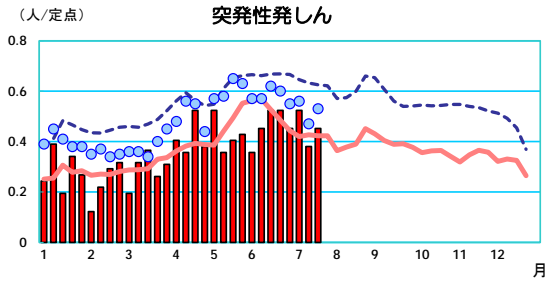
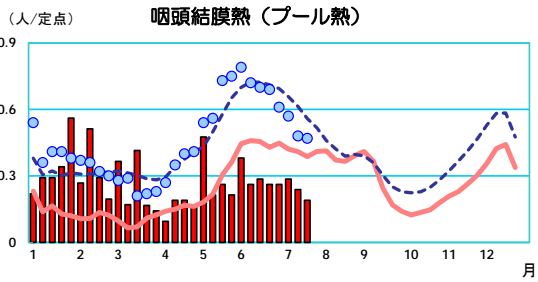
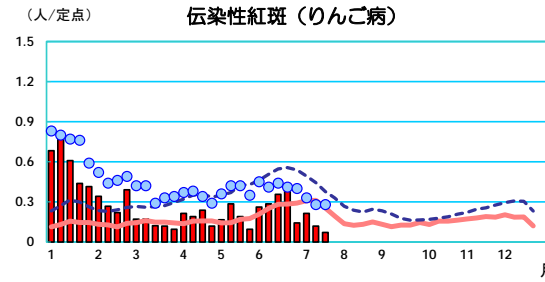
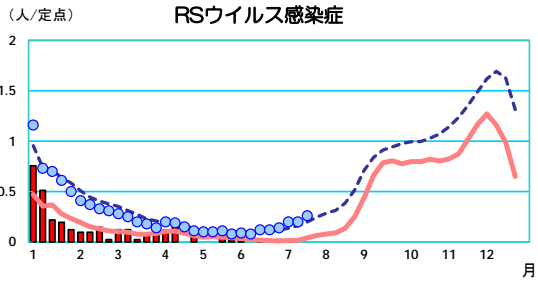
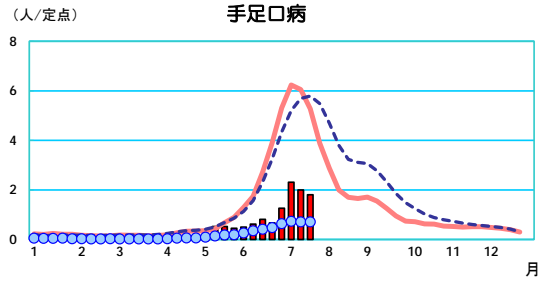
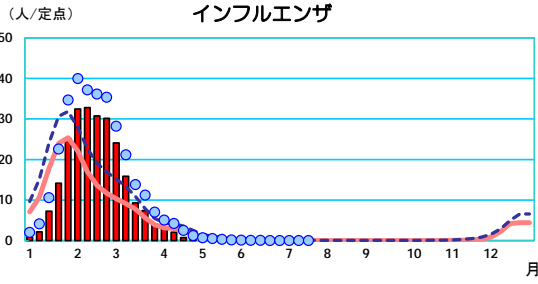
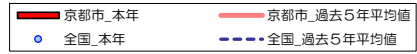
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<腸管出血性大腸菌感染症>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成28年8月4日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



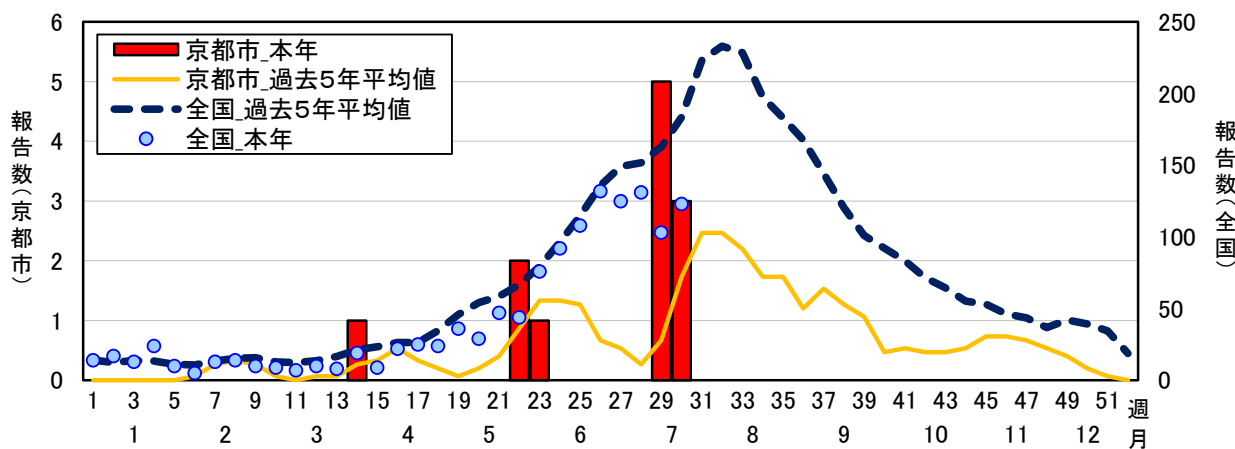
第30週(7月25日～7月31日)トピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

京都市の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は前週の5例に続き、30週も3例の報告があり、年間累積報告数が12例となりました。全国の報告数は23週あたりから増加しはじめ、今週は123例となっています。過去5年平均値から見ると、京都市、全国ともにまもなくピークを迎えるものと思われます(図1)。本市で今年報告のあった12例の内訳を見ると、年齢別では各年齢層に分散しているうえ、散发例が8例(図2)と市内各所で発生しています。

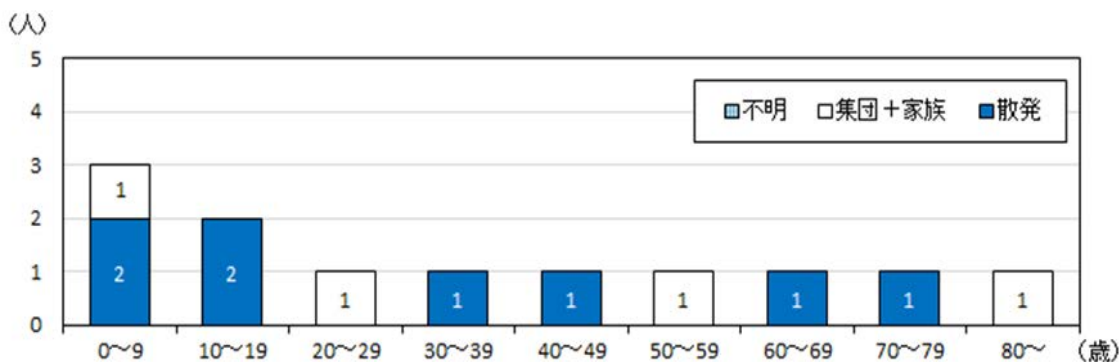
この感染症の症状は、3～5日の潜伏期間のあと、激しい腹痛、水様性下痢及び血便を特徴とします。原因となる腸管出血性大腸菌には多くの血清型が存在しますが、なかでもO157に感染すると一般的に症状が重く、特に乳幼児や高齢者が発症すると重篤な合併症を起こすことがあります。京都市では、平成23年からの腸管出血性大腸菌感染症の報告が180例あり、その中でO血清型別ではO157が138例と約75%を占めています(表1)。本年も同様の傾向となっており、注意が必要です。

推定感染経路については、飲食物を介する経口感染の割合が高く、感染を予防するには、食中毒予防の基本(菌やウイルスをつけない、増やさない、やっつける)を守ることが重要であり、特に食肉等の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いが有効です。

京都市及び全国の報告数の推移(図1)



平成28年 年齢階級別報告数および内訳(図2)



過去5年のO血清型別報告数(表1)

診断年	O26	O69	O78	O86	O103	O111	O145	O157	O165	合計	その他
平成23年				1		1	1	30		34	不明1例
平成24年							1	23	1	27	不明2例
平成25年	5						8	33		46	
平成26年	6		1		3			24		35	不明1例
平成27年		1			1	1		20	1	26	不明2例
平成28年30週まで	3						1	8		12	
合計	14	1	1	1	4	2	11	138	2	180	

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第30週

平成28年7月25日～平成28年7月31日

データ入手日:平成28年8月4日

疾病,行政区別報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	1	3	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	1	3	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	1	3	16	2	4	-	-	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	5	46	1	9	1	4	-	7	1	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	2	7	1	3	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	25	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	1	9	4	-	5	-	2	-	5	13	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	4	1	2	-	2	-	7	6	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	3	4	27	3	18	-	3	-	6	4	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	7	59	2	31	-	5	-	15	18	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	2	7	40	-	1	2	2	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	8	40	231	10	76	3	19	-	60	48	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	0.25	0.75	0.50	-	-	-	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	0.25	0.75	0.50	-	-	-	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	0.33	1.00	5.33	0.67	1.33	-	-	-	1.00	0.67	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	1.25	11.50	0.25	2.25	0.25	1.00	-	1.75	0.25	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	0.67	2.33	0.33	1.00	-	0.33	-	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	12.50	-	1.00	-	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	0.25	2.25	1.00	-	1.25	-	0.50	-	1.25	3.25	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	0.50	-	0.50	-	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	1.33	0.33	0.67	-	0.67	-	2.33	2.00	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	0.60	0.80	5.40	0.60	3.60	-	0.60	-	1.20	0.80	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	1.00	8.43	0.29	4.43	-	0.71	-	2.14	2.57	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.40	1.40	8.00	-	0.20	0.40	0.40	-	0.60	0.80	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.19	0.95	5.50	0.24	1.81	0.07	0.45	-	1.43	1.14	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第30週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年7月25日～平成28年7月31日

データ入手日:平成28年8月4日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		8	-	1	3	-	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		40	1	-	-	1	6	7	3	4	5	4	2	2	-	5	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		231	1	19	41	26	31	10	18	12	8	6	9	16	12	22	-	-	-	-	-	-
水痘		10	-	-	4	3	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	76	-	6	19	16	10	7	10	3	-	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		3	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		19	1	10	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		60	1	8	14	11	9	7	1	3	2	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		48	-	-	1	1	7	10	4	6	3	5	5	4	-	2	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.19	-	0.02	0.07	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.95	0.02	-	-	0.02	0.14	0.17	0.07	0.10	0.12	0.10	0.05	0.05	-	0.12	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.50	0.02	0.45	0.98	0.62	0.74	0.24	0.43	0.29	0.19	0.14	0.21	0.38	0.29	0.52	-	-	-	-	-	-
水痘		0.24	-	-	0.10	0.07	-	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	1.81	-	0.14	0.45	0.38	0.24	0.17	0.24	0.07	-	0.02	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.07	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.45	0.02	0.24	0.17	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1.43	0.02	0.19	0.33	0.26	0.21	0.17	0.02	0.07	0.05	-	0.02	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1.14	-	-	0.02	0.02	0.17	0.24	0.10	0.14	0.07	0.12	0.12	0.10	-	0.05	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第30週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年8月4日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	-	-	1	-	-	-
RSウイルス感染症	1	-	1	1	-	-
咽頭結膜熱	12	11	11	12	10	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	73	48	59	59	30	40
感染性胃腸炎	251	267	253	228	143	231
水痘	9	23	18	17	14	10
手足口病	34	28	53	97	84	76
伝染性紅斑	15	17	6	9	5	3
突発性発しん	22	22	19	22	16	19
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	83	106	108	111	67	60
流行性耳下腺炎	42	30	35	38	25	48
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	4	3	5	4	-
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	546	556	567	599	398	495

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	-	-	0.01	-	-	-
RSウイルス感染症	0.02	-	0.02	0.02	-	-
咽頭結膜熱	0.29	0.26	0.26	0.29	0.24	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.74	1.14	1.40	1.40	0.71	0.95
感染性胃腸炎	5.98	6.36	6.02	5.43	3.40	5.50
水痘	0.21	0.55	0.43	0.40	0.33	0.24
手足口病	0.81	0.67	1.26	2.31	2.00	1.81
伝染性紅斑	0.36	0.40	0.14	0.21	0.12	0.07
突発性発しん	0.52	0.52	0.45	0.52	0.38	0.45
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1.98	2.52	2.57	2.64	1.60	1.43
流行性耳下腺炎	1.00	0.71	0.83	0.90	0.60	1.14
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.40	0.30	0.50	0.40	-
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	13.30	13.54	13.72	14.64	9.78	11.79

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。